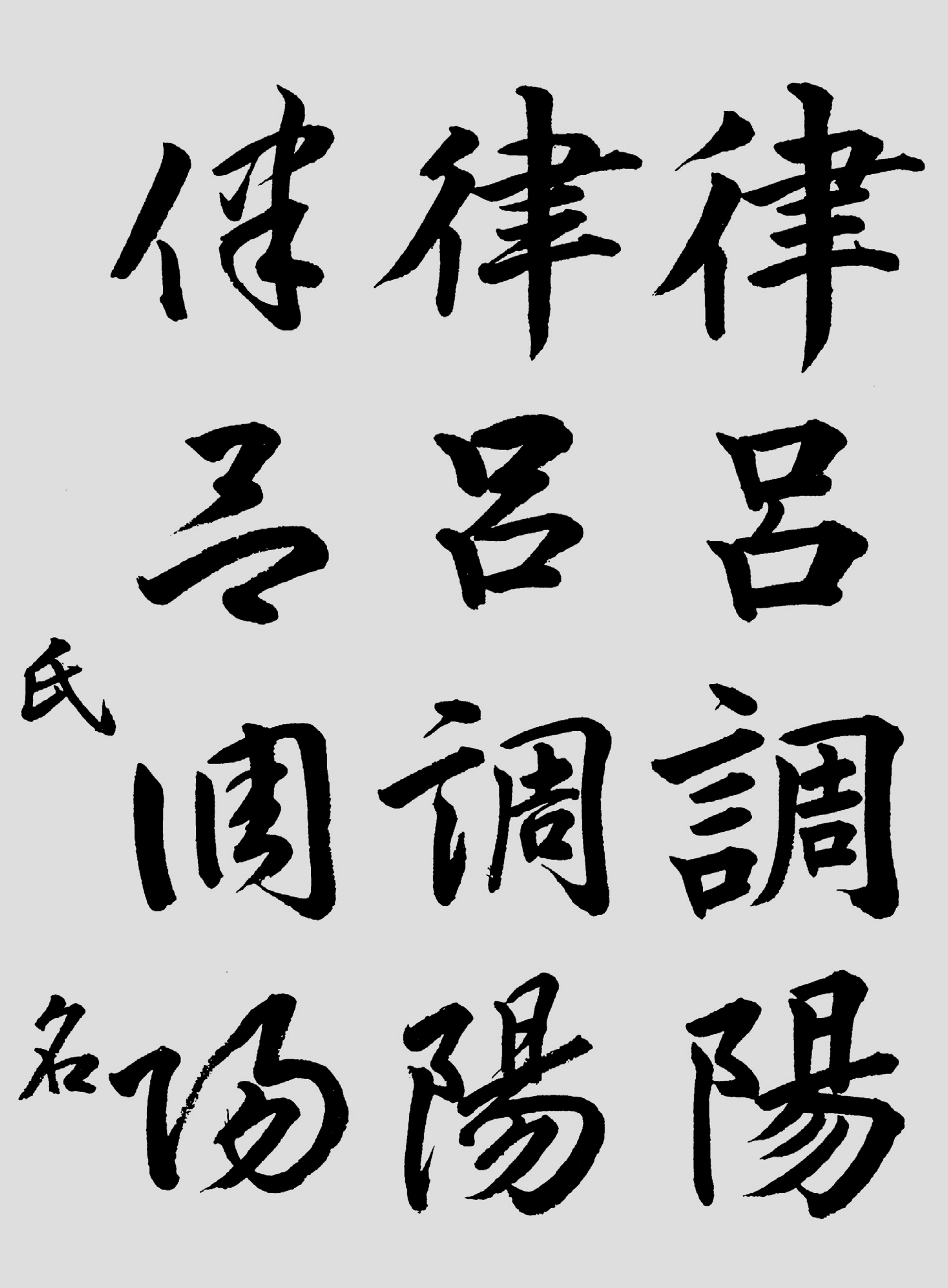
三体千字文を書く（８）

締切り　八月二十五日（必着）



奥村憲照先生書

◆硬筆の専門誌だった大書心に一般毛筆部が設立されたのは、昭和五十六（一九八一）年四月のことです。

◆「三体千字文」の一課題からスタートしましたが、憲照先生の穏健中正で気品のある毛筆手本が好評を博し、「硬毛一致」の新しいスローガンを打ち立てて毛筆部の充実を図り、本会の発展へとつながりました。

◆原点に返って、基本用筆と正しい崩し方をしっかり学びましょう。

〔千字文〕

四言古詩二五〇句、重複しない千字からなっており、聖徳・修養・修身・斉家等について述べられた習字手本であり、初学者の教科書でもあった。

　梁の武帝（在位五〇二～五四九）の命を受け、周興嗣が王羲之の筆跡中からまとめたといわれる。

〔解　説〕

閏餘成歳

律呂調陽

　閏月によって一年を完成させ、

律呂によって陰陽をととのえる。

□作品の出し方

▼硬筆部＝Ｂ５判（二五七㎜×一八二㎜）以下の紙に書いて下さい。用具は自由です。（黒色に限る）

▼毛筆部＝半紙に書いて下さい。（筆ペン可）

▼出品制限の対象とはしませんが、出品は硬・毛のどちらか一方に限ります。

▼**事務処理上、支部略称・氏名・会員番号・硬筆規定の成績（毛筆の場合は毛筆漢字の成績）**を、作品余白にお書き下さい。

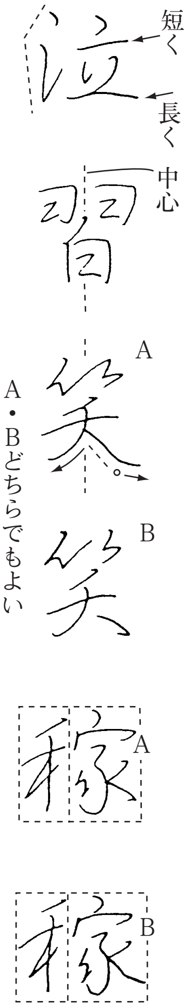
▼優秀作品は、写真版として成績表の後ろに掲載しますが、成績表での順位発表はしません。

新入から１級まで

大谷清城（おおたにせいじょう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会級位用紙

〔解　説〕



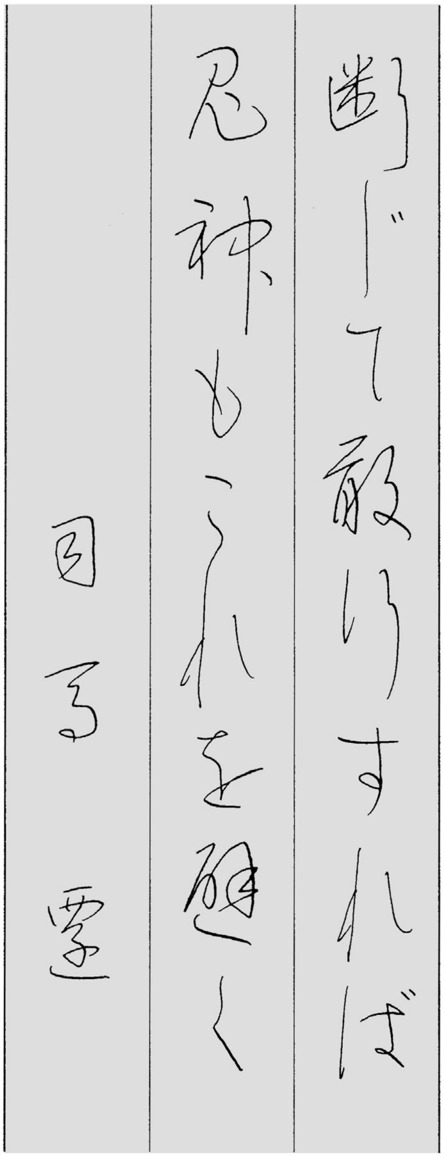
★泣きながら…（書体＝行書）
スペインのことわざ

世界最古の大学の一つであるサマランカ大学（一二一八創立）をもち、特にラテンアメリカ諸国の文化的祖国であることを自負するスペインは、常に学問の水準の維持に心を砕いてきました。「学んで努力せよ。やがて博士に」など、学ぶことの大切さを説くことわざは、スペインに数多くあります。

◆**9月課題予告**（楷書）

道近しといえども
行かざれば至らず
荀子（じゅんし）

準初段から六段まで



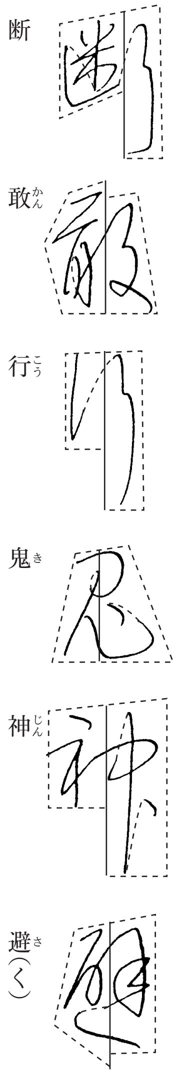
岡田龍芳（おかだりゅうほう）書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会段位用紙

▶教範・書範は右課題を「行書」で、師範は「楷書」で出書して下さい。

◎何事もライバルをもつこと。これが繁栄、上達の秘訣であろう。私も駆け出しの頃、誌上の成績欄で、勝手にマークした誌友に、追いつけ追い越せでがんばった思いが脳裏に過る。

〔解　説〕



★断じて…（書体＝行草または草書）
司馬遷（しばせん）（前一四五？〜前八六？）
中国の前漢の歴史家　『史記』より

小事にまどわされ、大事なことを見失っては物事はうまくいきません。周到に準備をして、断固とした態度で臨むならば、恐ろしい鬼神さえも道をあけて、必ず成功を収めることができるのです。

◆**9月課題予告**（行書）

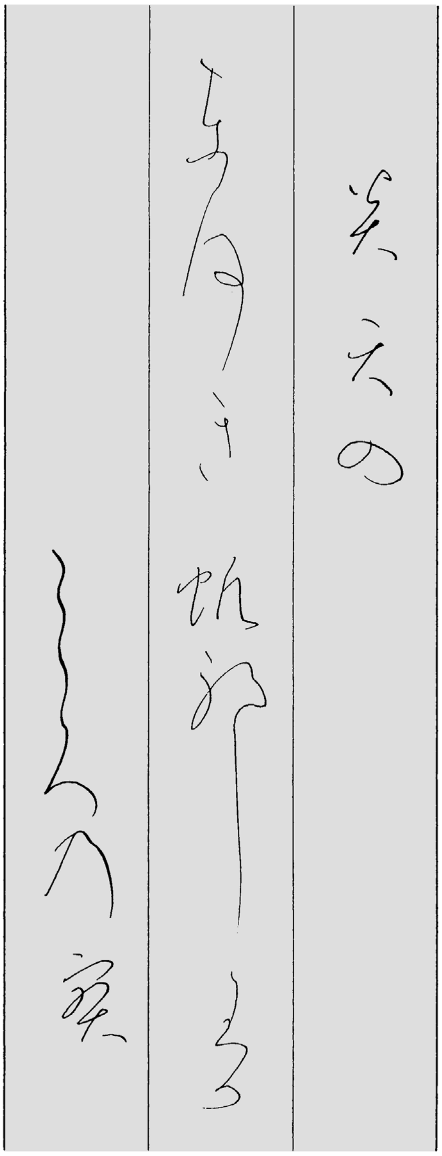
人は敗れた
ゲームから教訓を
学び取るものだ

▼教範・書範＝楷書
▼師範＝行草または草書

一般部かな課題

締切り　8月25日（必着）

準初段から六段まで



炎天の遠き帆やわがこころの帆

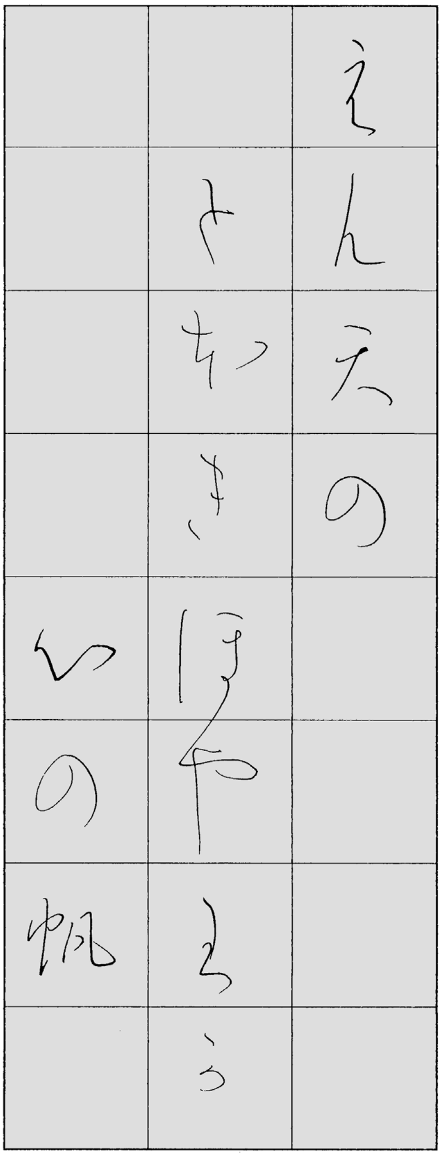
（東保 耶 王可 乃寶）

大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会段位用紙

■両課題とも、文字の変換・配字は自由です。

新入から１級まで



炎天の遠き帆やわがこころの帆

（本 王可 心）

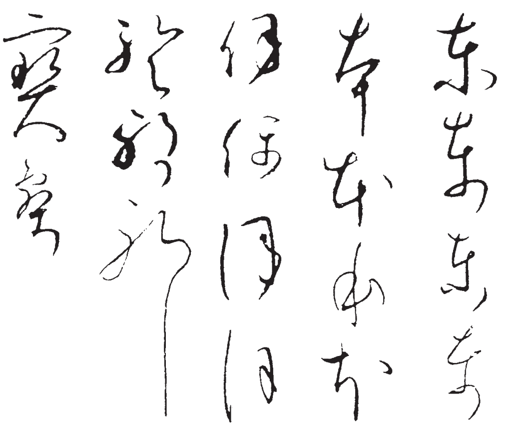
大宮春兆書

▷用具＝自由（黒色に限る）
▷用紙＝本会級位用紙

炎天の遠き帆やわがこころの帆
（山口誓子）

〔句意〕真夏の炎天下、はるか遠くの彼方の沖にじっと動かないでいる白い帆がかすかに見える。それは寂しくも、なつかしい我が心の帆である。

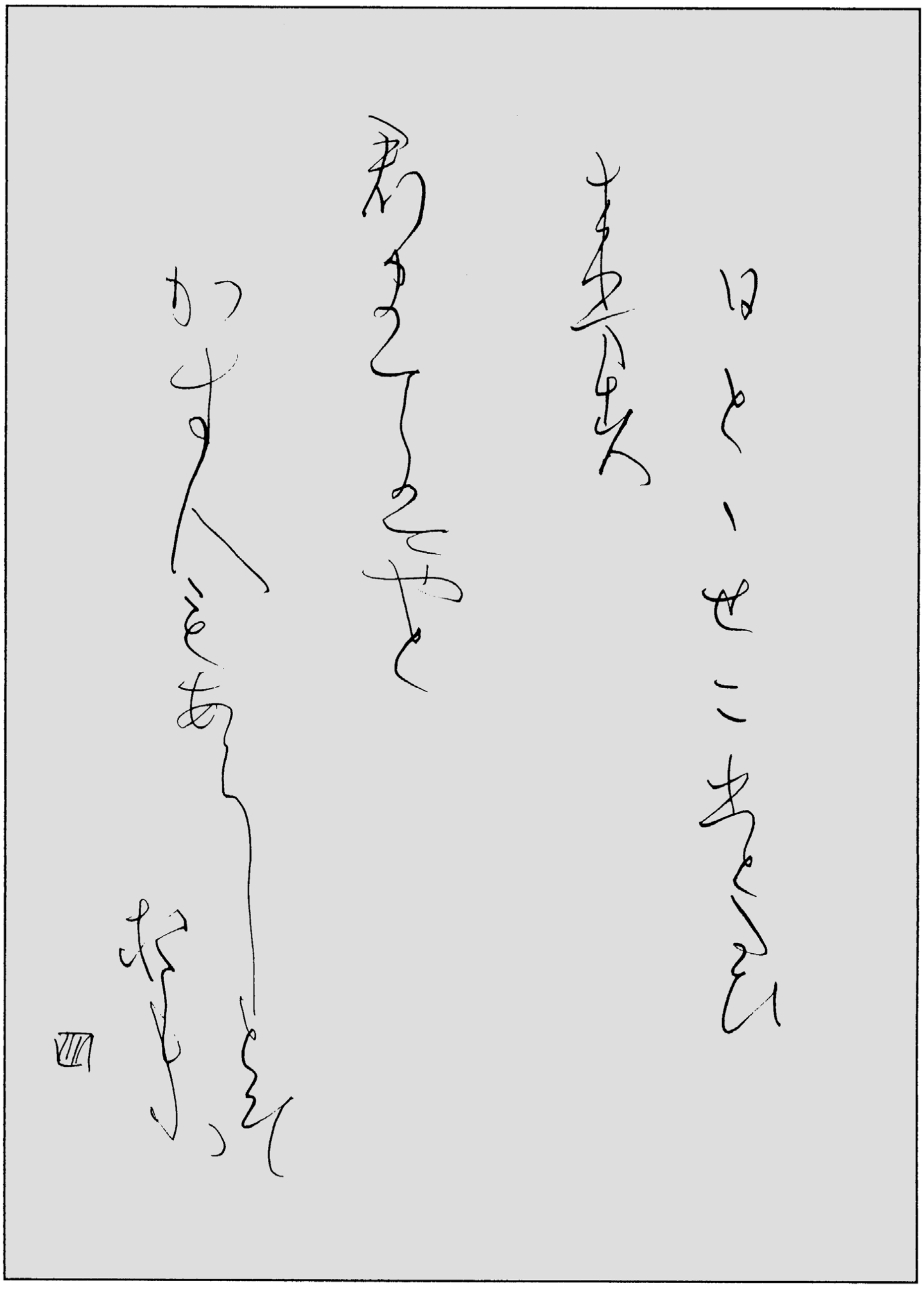
〔古筆参考〕



◆9月課題予告

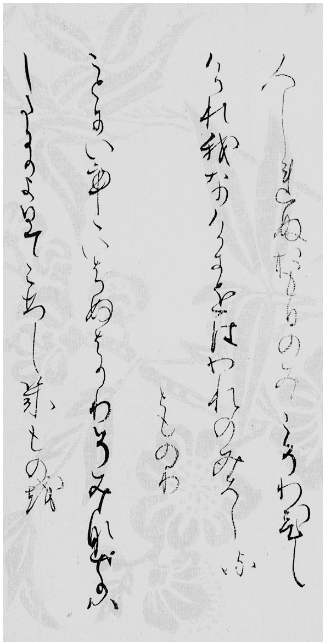
赤蜻蛉筑波に雲もなかりけり
（正岡子規）

締切り　八月二十五日（必着）



梁瀬舟香（やなせしゅうこう）書

〔古筆参考〕
本阿弥切（ほんあみぎれ）

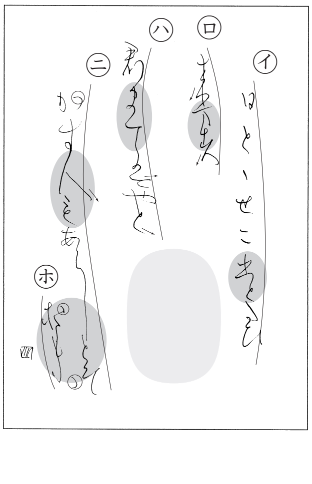


人しれぬおもひのみこそわびし
けれ我なげきをばわれのみぞしる
とものり
ことにいでゝいはぬばかりぞみなせがは
したにかよひてこひしきものを

紀有常（きのありつね）

一年にひとたび来ます君待てば
宿かす人もあらじとぞ思ふ

〔解説〕
〔歌意〕織姫は一年に一度と決めて訪れてくる彦星を待っているのだから、そのほかには宿を貸す相手など、まずあるまいと思う。
〔出典〕古今和歌集　（新潮日本古典集成）



・イとハ、イとニ、イとホ、ロとハ、ロとニ、ロとホ、それぞれ呼応。
・◯大きな間。
・●行の中の密の動き。
・↙の方向大切。
・か　れ　ゞ　点の位置注意。

本阿弥切の魅力㈠

今迄に本阿弥切の美しさは流動美ではなく畳み込む量感のある男性的な切れ味のある美しさと述べましたが、本阿弥切の魅力は文字の黒が余白にしっくりと沈んでいる。それは渇筆の息長い表現、それが本阿弥切の魅力と云えましょう。

参考資料「日本書道辞典」「古筆に学ぶ」共に二玄社

◆9月課題予告

このたびは幣（ぬさ）もとりあへず手向山（たむけやま）
もみぢの錦神のまにまに

実用文のページ

締切り　8月25日（必着）

ロンドンオリンピックで活躍した
日本選手に影響を受けて、私も
水泳を始めました。とは言っても
ダイエット目的の水中ウォーキング
ですが、一年後の変身した自分の
姿を夢見ながら頑張っています。

作品の出し方

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。成績は評価により毎月変わります。

■ 用紙＝はがき課題ははがき用紙、横書き課題は一般部段位用紙を横に使用。

■ 用具＝はがき、横書き課題ともに自由。（黒色に限る）

■ 両課題とも、書体変換は自由です。

はがき課題

奥田三雲（おくだみくも） 書

ロンドンオリンピックで活躍した
日本選手に影響を受けて、私も
水泳を始めました。とは言っても
ダイエット目的の水中ウォーキング
ですが、一年後の変身した自分の
姿を夢見ながら頑張っています。

◎手本は水性ボールペン使用

横書き課題

岡嶋桂川（おかじまけいせん） 書

独立した当時のアメリカ合衆国は、
わずかに東部の13州だけでした。
東京都墨田区　　氏　　名

※手本は、つけペン使用。　★三行目は、**指定の地名**と氏名を書いて下さい。

一般部毛筆漢字課題

締切り　８月２５日（必着）

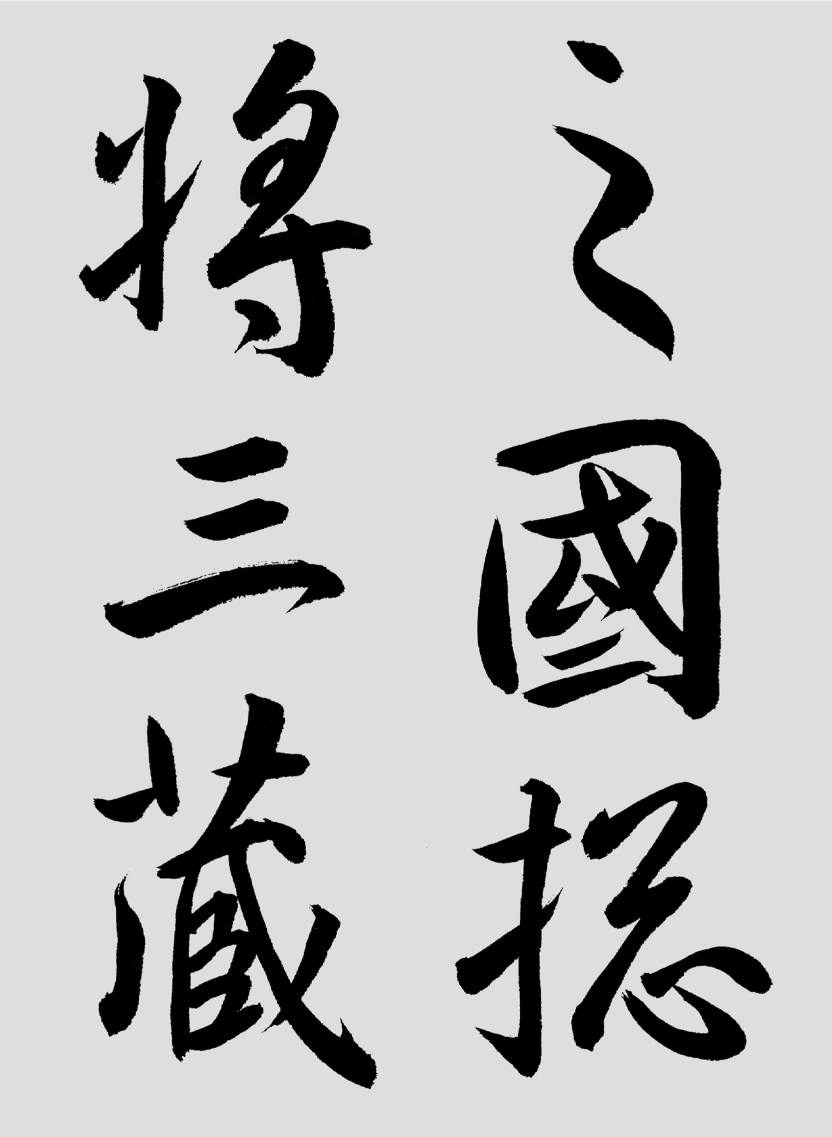
新入から１級まで（行書）

澤（さわ）静雨（せいう）書

〔**読み**〕天は潤（ひろ）くして星漢低（た）る

〔**大意**〕潤い天に銀河が低く見える。

準初段から師範まで



奥村暢之（おくむらのぶゆき）臨

之　國　總（揔）　將　三　藏

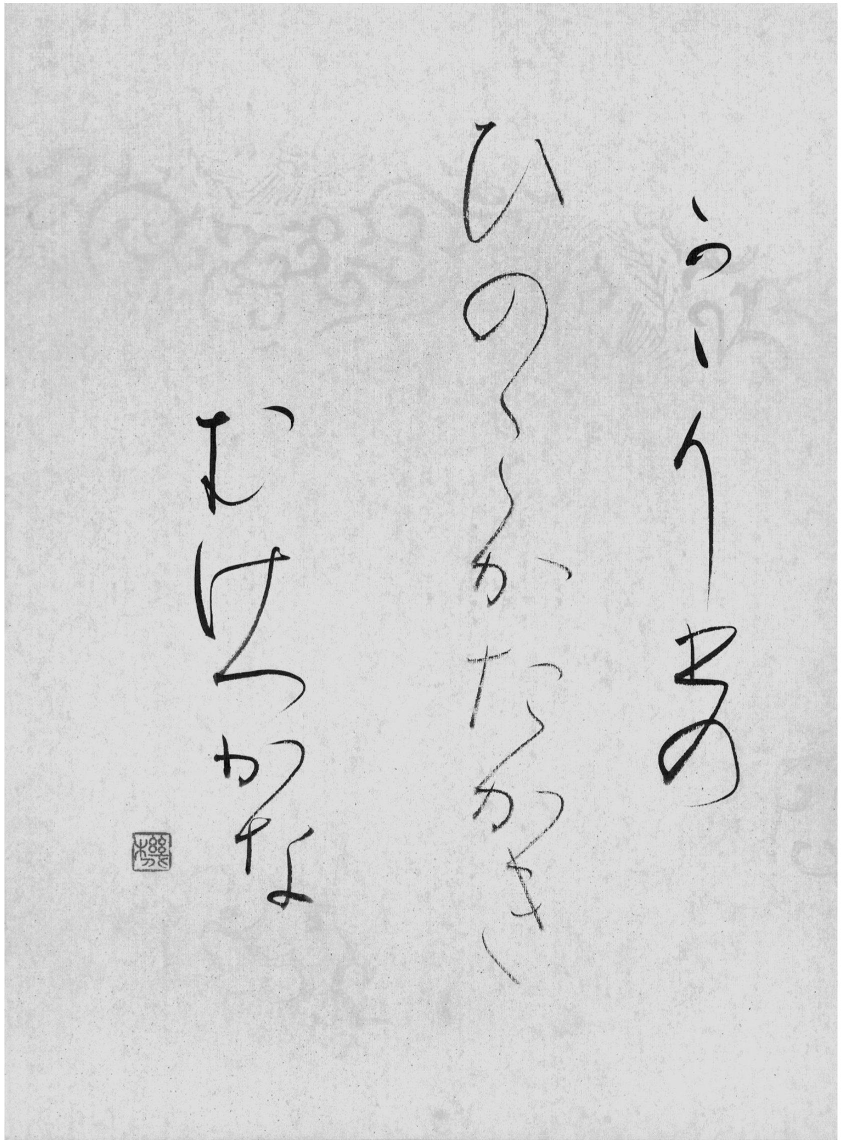
〔**出典**〕集字聖教序（６７２）〔**筆者**〕王羲之法書より集字

〔**読み**〕（所）の国（より）三蔵の（要文、凡そ六百五十七部を）総将し、

一般部毛筆かな課題

締切り　8月25日（必着）

新入から1級まで



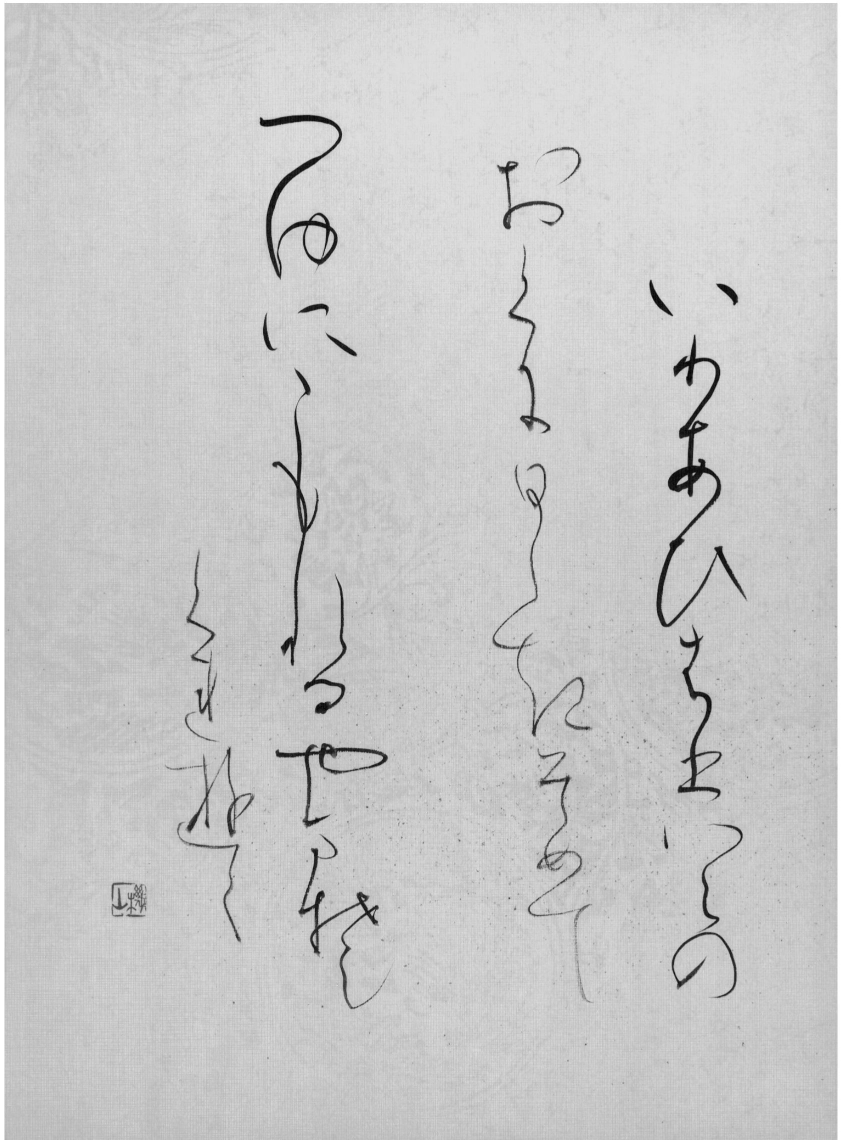
浅井機山先生書

篝火の火の粉が高き無月かな

〔出典〕松本たかし
〔句意〕無月の暗闇の中、篝火を焚くさまは、薪能の舞台を思わせる。空へ高く舞い上る篝火の火の粉は華やかであり艶がある。

準初段から師範まで

■両課題とも文字の変換、ちらし方は自由です。



入相は檜原の奥にひびきそめて
露にこもれる山ぞ暮れゆく

〔出典〕足利尊氏
〔歌意〕夕暮れの鐘が檜原の奥で鳴りはじめ、霧につつまれている山はいま暮れてゆく。

一般部毛筆条幅課題

締切り　八月二十五日（必着）

半　切（一三六㎝×三五㎝）

荻田蒼仙書

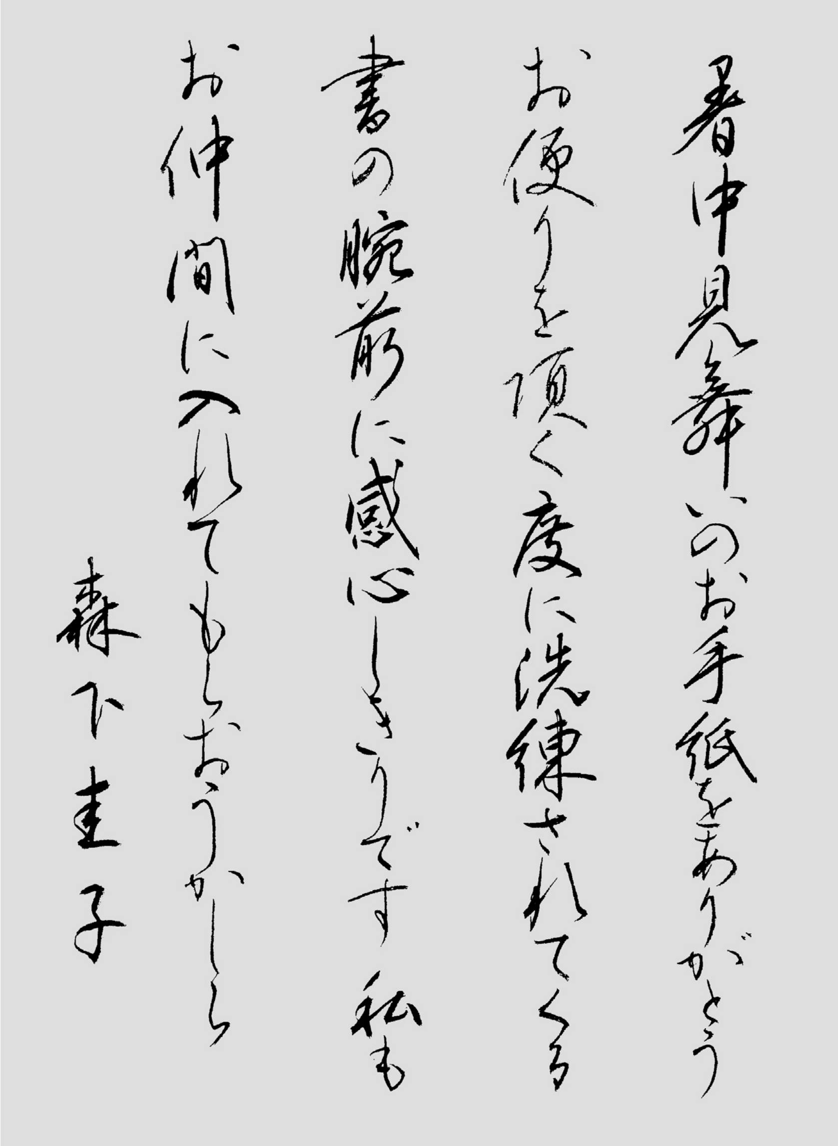
蝉聲出高樹

〔**大意**〕高い樹の上で蝉が鳴いている。自然に恵まれた山の中に住んでいる私の幸せ。

初出品の方へ

支部名・会員番号・姓名・毛筆漢字成績を、作品左下に必ずお書き下さい。

一般部毛筆細字課題



半紙（３３４㎜×２４０㎜）　　樋田玲華書

〔**条幅解説**〕作品は均衡美。変化と統一です。細と太、疎と密、潤と渇、大と小等のように相反する要素を一つでも多く入れて作品づくりをして下さい。そして批評を頂きましょう。

暑中見舞いのお手紙をありがとう
お便りを頂く度に洗練されてくる
書の腕前に感心しきりです　私も
お仲間に入れてもらおうかしら
（ご自分の氏名）

・印で墨つぎしました。

〔**条幅・細字作品の出し方**〕

■ 新入から師範まで、どなたでも出書できます。

■ 成績（天位～5等）は、評価により毎月変わります。

■ 書体変換、変体仮名の交換は自由です。

よう年

ひえるれ
いぞうこ

★新入は、年少・年中・年長の別を記入して下さい。
★幼年は、全員8マス用紙で出書して下さい。

◆ひらがなトレーニング（なぞってかいてみよう）

ひえるれ
いぞうこ

〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小一年

まいあさみ
そしる白ご
はんたべる

準初段以上

（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

まいあさ
白（しろ）ごはん

丶 亻 白 白 白

新入～1級

幼年～小三年　三宅（みやけ）容玉（ようぎょく）書

〈ようぐ〉自由（黒色にかぎる）

小二年　準初段以上

水そうの中
に金魚が五
ひきいます

新入～1級

水（スイ）そうの
中（なか）に金（キン）魚（ギョ）

小三年　準初段以上

海岸でたく
さん美しい
貝がら拾う

（注）えんぴつ書きでは、消しゴムを使ってはいけません。

新入～1級

美（うつく）しい貝（かい）
がら拾（ひろ）う

小四年

準初段以上

良い天候で
足取り軽や
かに山歩き

新入～1級

良（よ）い天（テン）候（コウ）で
山（やま）歩（ある）き

〈用具〉自由（黒色に限る）

小五年

（全員）

真夏の暑さ
に大混雑す
る海水浴場

小五以上は、全員15マス用紙で出書して下さい。

解説（よく見て習いましょう）

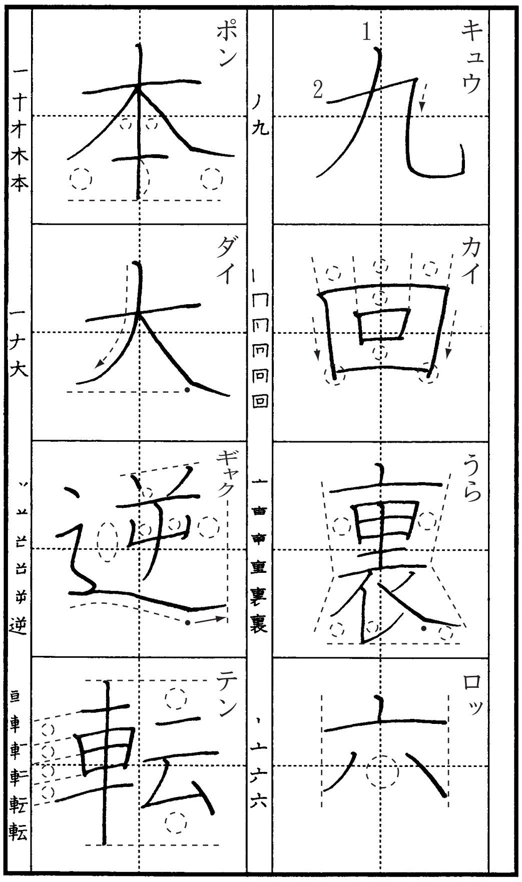
真（ま）夏（なつ）暑（あつ）(い)混（コン）
雑（ザツ）海（カイ）浴（ヨク）場（ジョウ）

小四以上　須（す）田（だ）一（いち）葉（よう）書

小六年（全員）

九回裏にヒット六本で大逆転した

解説（よく見て習いましょう）



〈ようぐ〉自由（黒色に限る）

中一年（行書）

好物の宇治金時かき氷を食べ涼む

中二・三年（行書）

夏休みの間に昆虫採集と観察日記

◎お手本は、つけペンで書きました。

こどものひろば

しめきり　8月25日（必着）

▼小三年以下の課題　佐藤香園 書

和歌山県の
動物園で見た
ぬいぐるみ
みたいな
かわいいパンダ

◎お手本はえんぴつ使用

習っていない漢字は、
ひらがなで書いてもよろしい。

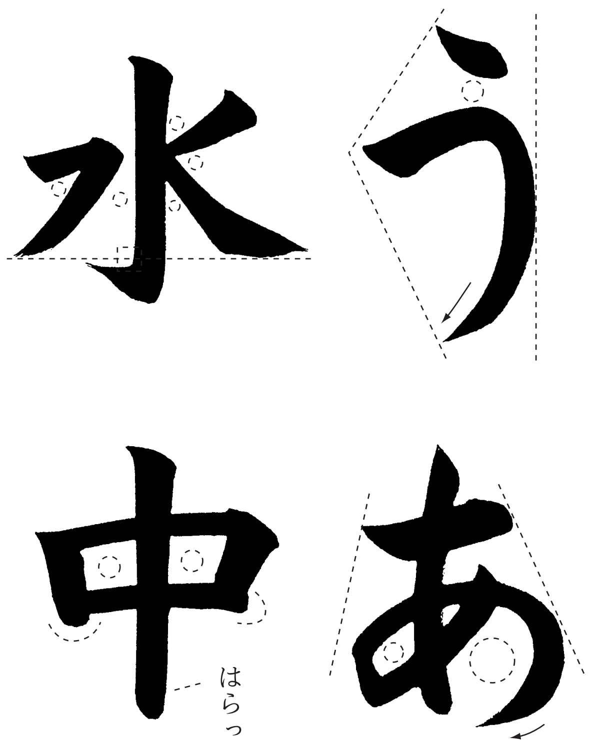
▼小四年以上の課題　矢野千仙 書

夏休みの
自由研究は
水族館飼育員の
仕事を体験し
発表します

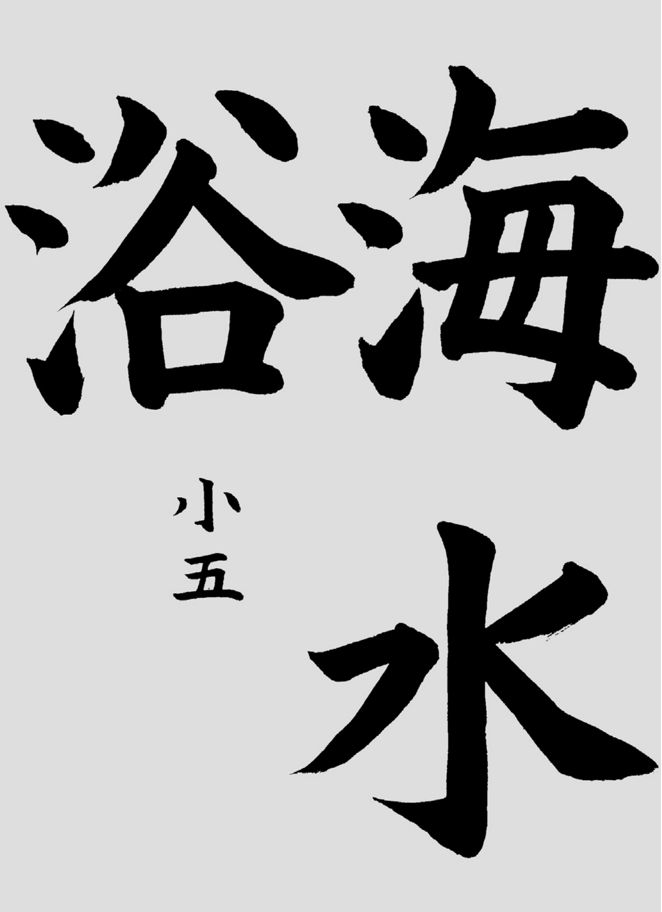
◎お手本はつけペン使用

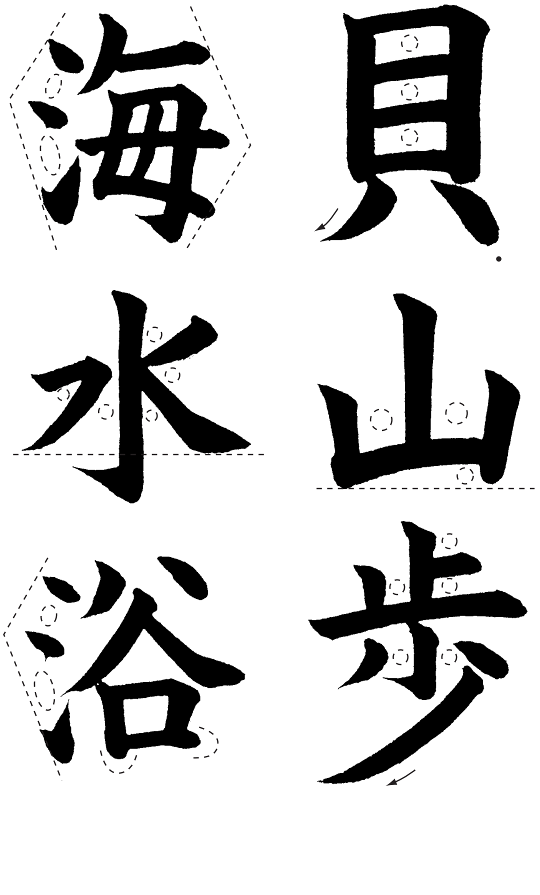
◇**作品の出し方**

一、選定用紙（五行・四行）に書いて下さい。
一、作品には、支部名（校名）学年、氏名を書き入れて下さい。
一、筆記用具は自由です。（黒色に限る）
一、四行用紙を使用してもよろしい。その場合は、文章を適当に短くして下さい。
一、成績は評価により毎月変わります。
一、支部会員は、出品ラベルを必ず貼って下さい。**貼っていない方は新入とみなします。**



幼年～小二年　玉樹小華書





小三〜小五年　水野（みずの）香竹（こうちく）書

小六〜中二・三年　奥村暢之書

◉行書では画のつながりに注意しよう。